

CITY OF YOKOHAMA

新たなビジネス・起業家が
溢れる未来を目指して



横浜市

企業版ふるさと納税
マッチング会

横浜市経済局
イノベーション推進課

明日をひらく都市
OPEN X PIONEER

スタートアップ創出・次世代人材育成



横浜市 背景と現状の課題

人口
約377万人



全国最大の
基礎自治体

学術研究開発機
関の事業所数
215



※H3 経済センサス

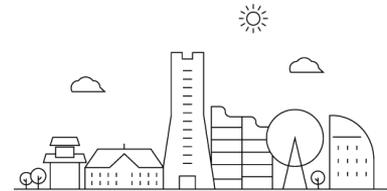
技術者・研究者
約16万人



※R2 国勢調査

政令指定
都市
第1位

もの創り・IT企業
R & D拠点の集積



横浜市の特徴を活かして、イノベーションが次々と生まれる循環をつくり、スタートアップが集積する環境（スタートアップエコシステム）を作ろうとしています。

そのためには、イノベーションを起こす人材が不可欠。小中高生から大学生、社会人を対象に時代の変化に適応したイノベーション人材の創出・育成が必要です。



新たなビジネス・起業家が溢れる未来を目指して

プロジェクト1 イノベーション人材育成事業

①小中高生等を対象とする次世代教育プログラム



横浜市経済局事業 小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校向け 会社経営体験プログラム

参加校募集

横浜市経済局では、市立小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校を対象として、早期から社会経験やビジネスを目指す児童を育成する「会社経営体験プログラム」を実施します。各学校での自分づくり教育（キャリア教育）と関連付けて活用することができます。プログラムへの参加については、次の参加校を募集します。

募集概要

募集校 | 5校(小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校) (特別支援学校は1校)

募集期間 | 令和6年5月24日(日) 10時～16時

申込 | 令和6年5月17日(日) 10時～16時

実施期間 | 令和6年9月12日(日) 10時～16時

成果発表会 | 令和7年2月21日(日) 10時～16時

参加費 | 無料(交通費は各自負担)です

参加資格 | 令和6年5月現在で15歳未満(義務教育の課程)の小学生以上(特別支援学校は15歳未満)です

参加校募集 | 令和6年5月17日(日)10時～16時

参加校募集受付先 | 横浜市経済局 企画課 企画係

TEL: 045-661-2111(内線2111)

URL: <http://form.run@yokohama-entre.20240517>

令和6年5月17日(日) 15:30～16:30
参加校募集受付のオンライン説明会は、こちらから
URL: <http://form.run@yokohama-entre.20240517>

主催 | 横浜市経済局 企画課 企画係(事務局)

運営協力事業者 | 株式会社長井アスキー総合研究所

参加者の声

小学校6年生

経験がなかったので、新しいことができて楽しかったです。みんなと協力して取り組むのが楽しかったです。

中学校・義務教育学校

6、7の2つの学年で、授業テーマに基づいた活動を通して、自分の強みや得意分野を認め、他者と協力して課題を解決する楽しさを体験することができました。

プログラム 基本構成(175分間)

順序	活動の目的	活動内容
1	起業家活動を体験しよう	起業家活動を通して起業について学びます
2	起業家について学ぼう	起業家について学びます
3	会社を学ぼう	会社には様々な部署があり、役割があります
4	市場調査をしよう	競争相手やニーズを調査し、市場を分析します
5	事業計画をしよう	材料や人などの費用を把握し、事業計画を立てます
6	事業計画を学ぼう	事業計画について学びます
7	事業計画を学ぼう	事業計画について学びます
8	材料を学ぼう	材料や人などの費用を把握し、事業計画を立てます
9	市場調査をしよう	競争相手やニーズを調査し、市場を分析します
10	会社を学ぼう	会社には様々な部署があり、役割があります
11	市場調査をしよう	競争相手やニーズを調査し、市場を分析します
12	市場調査をしよう	競争相手やニーズを調査し、市場を分析します
13	市場調査をしよう	競争相手やニーズを調査し、市場を分析します
14	市場調査をしよう	競争相手やニーズを調査し、市場を分析します
15	市場調査をしよう	競争相手やニーズを調査し、市場を分析します

学校の授業の中で、起業・会社経営やビジネスを体験することでチャレンジ精神や探求心、他者と協働して新しい価値を創造する力を子どものころから育み次世代を担うイノベーション人材を育成するプログラムを実施しています。

ベネフィット

- 企業ロゴ掲載
- 発表会スクリーン
- 市ウェブサイト等

10校768人の児童生徒が参加

②イノベーション創出を目的とした未来体験・交流イベント YOXO FESTIVAL (よくぞフェスティバル)



横浜市立の
全小学校等
20万部配布



ベネフィット

企業ロゴ掲載

- ・チラシ、ポスター
- ・市ウェブサイト等

イベント企画、展示や
実証実験機会のご提供



出展ブース

イベント

来場者数 (2日間10会場延べ人数)

132 30 約 55,000人



プロジェクト2 グローバルスタートアップ集積拠点形成事業

グローバルを目指すテック系スタートアップを集中支援



<施設外観（イメージ）>

TECH HUB YOKOHAMA

2024年11月11日OPEN！

横浜ランドマークタワー敷地内25街区ギャラリー棟
運営：三菱地所株式会社・横浜未来機構共同企業体

◎資金調達につながるベンチャーキャピタル等との日常的な接点の構築

◎民間の“ラボ付き”オフィス等との連携

◎海外のスタートアップ支援組織との連携によるグローバルなサポート





TECH HUB YOKOHAMAにおけるイベント・プログラム例

<毎月第2・4水曜日開催>

- Venture Café Tokyoによる



<毎週金曜日開催>

- 協業・資金調達促進イベント等
- YOKOHAMA×The Drivery
(モビリティ関連プログラム)



TECH HUB YOKOHAMA 事業にご寄附いただける場合のベネフィットについては個別に調整させていただきます。お気軽にお問い合わせください。

横浜市経済局イノベーション推進課 担当 長崎、新井、小野
電話：045-671-3487 E-mail：ke-shinsangyo@city.yokohama.jp